

問 AVコーナーや視聴覚ホールは、全道的にも特色ある施設であり、平成4年のオープン以来10年程は、5,000人程度の利用があったが、現在は1,000人弱に低下。利用頻度の低下の要因としては、人口減少とスマートフォン等で、好きな時間に映画等を見ることが出来る。今後の利用方策は、4K8K対応など将来的に設備の更新も視野に入れ、利活用を図ること。オープン以来約30年を迎える施設で、長寿命化を図

答 AVコーナーや視聴覚ホールは、全道的にも特色ある施設であり、平成4年のオープン以来10年程は、5,000人程度の利用があったが、現在は1,000人弱に低下。利用頻度の低下の要因としては、人口減少とスマートフォン等で、好きな時間に映画等を見ることが出来る。今後の利用方策は、4K8K対応など将来的に設備の更新も視野に入れ、利活用を図ること。オープン以来約30年を迎える施設で、長寿命化を図

質問① 図書館の機能充実と活用等について



水野 洋一 議員

問 道内公立図書館の電子書籍貸出の方法と状況について。

答 電子書籍はインターネットを通じていつでも貸出、返却できるのが電子図書館である。全道的には現在、札幌市他4市町が導入。電子図書館は、近い将来導入が当たり前の環境になるかも知れないが、当町においては慎重に進めたい。



▲ 図書館受付カウンター

問 避難場所等の課題検討しているのかについて。

答 避難場所等の指定については、災害対策基本法に基づき、町長の諮問機関として設置している様似町防災会議に諮り、町長が防災計画に定めたもので、課題につ

問 避難場所等の課題検討しているのかについて。

答 町では、計69ヶ所の避難場所などを指定しており、これらは町道、道道、国道いずれかに隣接している。各道路管理者の責任において除雪を行うが、道路幅員の狭いことや日常生活上支障のない山間部などの路線は、除雪していない。また避難場所には公共施設であっても、上屋のない公園や広場などの中には、冬場の利用が少ないため除雪を行っていない場所もある。

問 町が委託している除雪の範囲とその費用について。

答 委託業者の除雪に係る費用は、年間の道路施設等維持管理委託料のうち、冬季間を4ヶ月として算出した額で、約1,131万円。その他リース建設機械の借り上げ料、これに係る消耗品費、燃料費など、除雪に係る費用総額は約2,034万円である。

問 町史「改訂版」「新版」写真集の在庫数とその活用について。

答 改訂版493冊、新様似町史490冊、写真集516冊。在庫冊数の活用については、写真集は町内57ヶ所の事業所や商店などに閲覧用として配布。町史は、現在編纂している新様似町史第2巻入手希望者に無料か低額で

問 町史「改訂版」「新版」写真集の在庫数とその活用について。

答 改訂版493冊、新様似町史490冊、写真集516冊。在庫冊数の活用については、写真集は町内57ヶ所の事業所や商店などに閲覧用として配布。町史は、現在編纂している新様似町史第2巻入手希望者に無料か低額で

問 町が委託している除雪の範囲とその費用について。

答 委託業者の除雪に係る費用は、年間の道路施設等維持管理委託料のうち、冬季間を4ヶ月として算出した額で、約1,131万円。その他リース建設機械の借り上げ料、これに係る消耗品費、燃料費など、除雪に係る費用総額は約2,034万円である。



▲ 様似町史・写真集

問 「新たな町史」が「読まれる町史、活用される町史」の方法の一つとして、電子化について。

答 電子書籍は予定しているが、現行データをPDFにして、調べたいワードで検索したり関連するページを見たりする方法は可能である。

問 現在、進められている「新たな町史」の発行予定時と冊数、販売価格と費用について。

答 発行は遅くても令和5年3月予定。1,000ページ700部を予定。1冊6,800円程度、経費480万円程度予定である。

質問② 除雪の現状と今後の方向性について

いては現状把握する中で検討、解決する。

一般質問

3月定例会では、議員5名・12件の一般質問を行いました。

令和3年度 予算審査特別委員会

3月定例会は、最終日午後10時過ぎ閉会という異例の定例会に！！

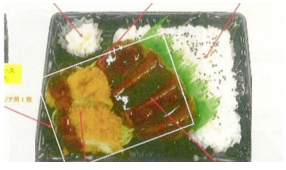
スクールランチの議論！

スクールランチについては所管である社会・文教常任委員会において当初は保護者への事前説明は行わないという説明がされた。

委員から「事前に保護者への説明が必要ではないか」との質問に対し「PTA役員に説明する」との答弁をした。

PTA役員会での説明は、常任委員会同様「保護者に事前説明をしてほしい」との意見が出たが、小学校、中学校の役員会及び町PTA連合会の役員会への説明にとどまった。

予算特別委員会では、所管ではない委員からも保護者に事前説明を求める意見や、注



※写真は、スクールランチのイメージとして、委員会に提出された資料から抜粋したものです。

文した保護者に助成をするこの不公平感についても質問があり、町側は学校給食が始まるまでの過程ということで理解を求めた。

◆ 争点 ◆

・保護者への事前説明

・不公平感の対応

◆ 顛末 ◆

町長が、委員会での意見を検証し、多くの保護者の賛同を得られない場合は、予算を凍結すると答弁した。

観光協会の体制強化

観光協会の事業については、現在、商工観光課が事務局を持っている状況にあり、民間事業者である観光協会に事務局を引き継ぎ、行政と民間の役割配分をすることで観光事業を進めていきたいという町側の説明であった。

予算は、通常の50万円に体制強化分の370万円の合計420万円が計上された。

委員からは、平成30年にも観光協会についてのやりとりがありましたが、役場主導で行ってきたこともあり再構築が出来ないのではないか、観光協会の役員はこのことに対して承知しているのか、体制強化費は三年後はいらないん



～観光協会の事務所となるのか～

ですわという質問が出た。

これに対し町側は、観光協会の総会は毎年一回開催して事業報告、予算決算、事業計画も記載されており、その中で組織強化を図るうえで人材育成、専従採用にかかる財政的支援の要望が記載されている。このことは平成30年頃から記載されていると答弁した。最後に、木下副町長が体制強化費は三ヶ年限りとし、その間に体制強化を行い収入増を図りたいと答弁した。